

第6次綾部市総合計画前期基本計画 進捗を共有する指標の状況（令和4年度）

綾部市では、「一人ひとりの幸せをみんなで紡いで実現できるまち…綾部」を将来都市像とする第6次綾部市総合計画を策定し、その実現のため各種施策の推進に努めています。

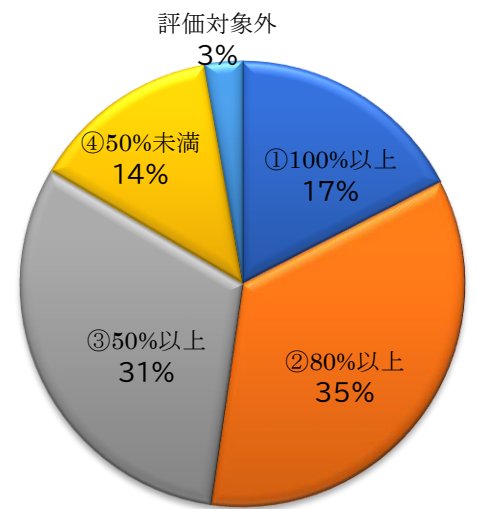
令和3年度から5か年を計画期間とする前期基本計画において、施策の進捗を市民と共有する109項目の指標を定め、その進捗状況を毎年度確認しながら達成に向けた取組を進めていくこととしています。

前期基本計画期間の2年を経過した令和4年度の指標の進捗状況を取りまとめましたのでお知らせします。

（1）進捗を共有する指標の結果

令和4年度における全109項目の進捗を共有する指標の目標値に対する実績値の比率について、100%以上が19項目（17%）、80～100%未満が38項目（35%）、50～80%未満が34項目（31%）、50%未満が15項目（14%）となりました。

令和7年度までの前期5か年において、指標の実績を確認する中で、PDCAサイクルを回し、計画に基づく各施策を推進します。



章別の進捗を共有する指標の状況

（単位：項目）

章／進捗率	100%以上	80～100%未満	50～80%未満	50%未満	評価対象外	総計
1章	2	7	6	4	1	20
2章	5	4	1	1	1	12
3章	2	5	12	1		20
4章	4	6	9	2		21
5章	3	11	4	6		24
6章	3	5	2	1	1	12
総計	19	38	34	15	3	109
割合	17%	35%	31%	14%	3%	

(2) 各章ごとの取組結果

第1章 平和をねがい、祈りのあるまち

○この章では、人権尊重社会の実現、平和の発信と国際交流、防災対策の推進、消防・救急体制の充実、生活の安全性の向上について、計画を定めています。

○20項目のうち2項目(10%)が100%以上、7項目(35%)が80~100%未満となっています。

- ・世界連邦推進綾部市小・中学生ポスター・作文コンクール応募数

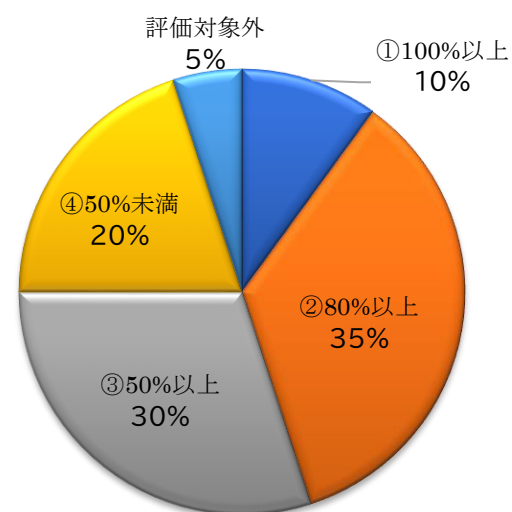
400点(目標460点)87.0%

- ・避難行動タイムライン作成組織数

40組織(目標21組織)190.5%

- ・救命講習受講者数

13,998人(目標15,300人)91.5%



第2章 自治を高め、心のつながりのあるまち

○この章では、市民活動の促進と地域の活性化、男女共同参画社会の実現、情報の発信と共有、健全な行政財政運営と広域連携について、計画を定めています。

○12項目のうち5項目(42%)が100%以上、4項目(34%)が80~100%未満となっています。

- ・あやべボランティア総合センター登録団体数

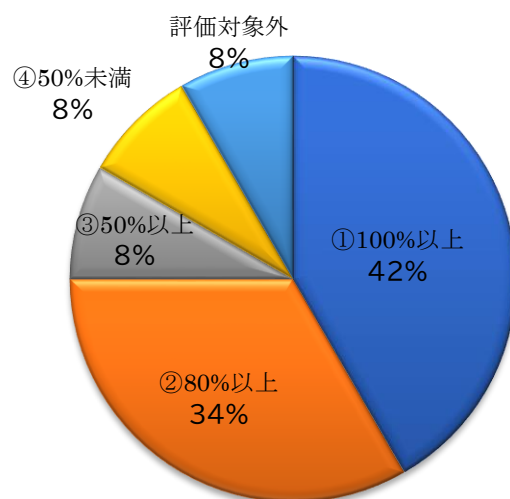
126団体(目標130団体)96.9%

- ・あいアカデミーなど各種講座への参加者数

420人(目標300人)140.0%

- ・ふるさと納税件数

1,745件(目標1,400件)124.6%



第3章 教育をたいせつにし、文化のかおるまち

○この章では、幼稚園、小・中学校教育の充実、社会教育の充実、青少年健全育成の推進、文化・芸術の振興について、計画を定めています。

○20項目のうち2項目(10%)が100%以上、5項目(25%)が80~100%未満となっています。

- ・将来の夢や目標を持つ子どもの割合(中3)

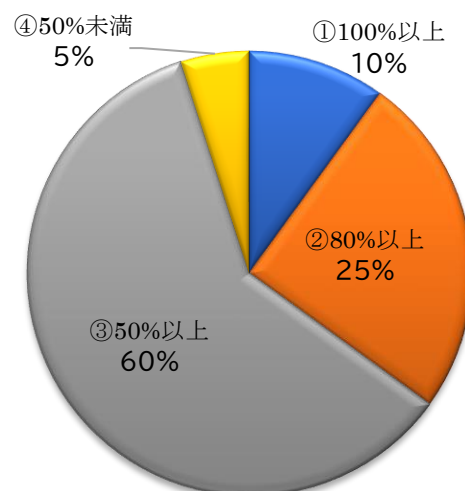
76%(目標80%)95.0%

- ・中央公民館利用件数

694件(目標780件)89.0%

- ・市美術展作品出展数

232点(目標280点)82.9%

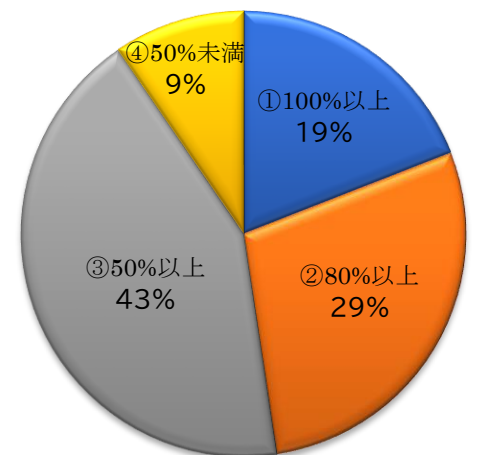


第4章 環境をととのえ、健康のあふれるまち

○この章では、環境保全と廃棄物対策の推進、地域福祉社会の実現、子育て環境の充実、高齢者福祉の推進、障害者福祉の推進、保健の推進、医療体制の充実について、計画を定めています。

○21項目のうち4項目（19%）が100%以上、6項目（29%）が80～100%未満となっています。

- ・ 保育所、認定こども園への入所（園）希望者の入所（園）率 100%（目標 100%） 100.0%
- ・ 認知症サポーター養成講座受講者数 12,062人（目標 13,500人） 89.3%
- ・ がん検診受診率 19.3%（目標 22.0%） 87.7%

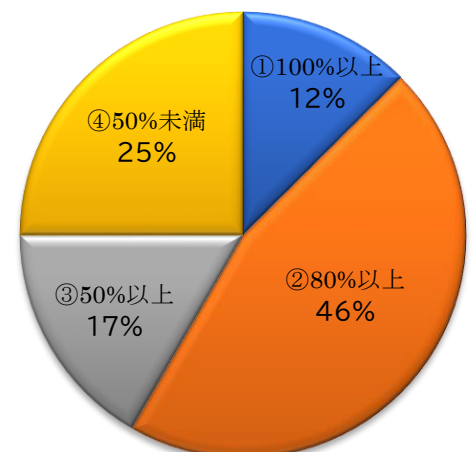


第5章 産業をおこし、豊かなくらしのあるまち

○この章では、農林業・内水面漁業の振興、商工業の振興と雇用促進、観光と交流の推進、移住・定住の促進、スポーツの振興について、計画を定めています。

○24項目のうち3項目（12%）が100%以上、11項目（46%）が80～100%未満となっています。

- ・ 京力農場プラン策定集落数 51集落（目標 47集落） 108.5%
- ・ 定住世帯数（定住サポート総合窓口扱い） 350世帯（目標 360世帯） 97.2%
- ・ スポーツ施設利用者数 196,205人（目標 206,000人） 95.2%

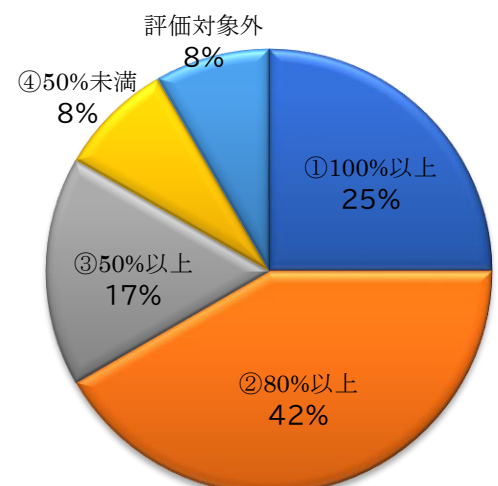


第6章 計画を定め、輝かしいあしたをひらくまち

○この章では、土地利用と市街地の形成、道路・公園の整備、公共交通の充実、上下水道の運営と整備について、計画を定めています。

○12項目のうち3項目（25%）が100%以上、5項目（42%）が80～100%未満となっています。

- ・ 公園施設長寿命化計画に基づく都市公園遊具更新率 61.0%（目標 59.3%） 102.9%
- ・ あやバス乗車人数 165,983人（目標 205,000人） 81.0%
- ・ 上水道管布設替え延長 1,995m（目標 2,000m） 99.8%



第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R3実績	①R4実績	R4達成率	R4達成区分	②R4実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
1	1 平和をねがい祈りのあるまち	人権尊重社会の実現	人権推進課	綾部市は、人権が尊重された豊かなまちになっていると思う人の割合		↑	38.5% (H30)	50.0%	不明	不明	対象外	対象外	令和5年度実施予定の市民調査により数値を把握するため、現段階では不明である。	関係機関と連携し、研修会や講演会を実施するとともに、広報紙や機関紙、ホームページ等を利用して情報発信を行うなど、人権教育・啓発の推進に努める。
2	1 平和をねがい祈りのあるまち	人権尊重社会の実現	市民・国保課	登録型本人通知制度登録者数		↑	395人	1,000人	527人	574人	57.4%	③50%以上	出張申請受付（献血会場、市健診会場、成人式、確定申告会場など）に向き、新規登録者の増加に努めた。	イベント等でのPRや出張申請を継続して実施する。広報紙、HPや窓口での案内などを中心としてPRに努める。
3	1 平和をねがい祈りのあるまち	人権尊重社会の実現	人権推進課 社会教育課	人権に関する啓発活動や講演会などへの年間参加者数		↑	2,198人	2,550人	1,123人	1,431人	56.1%	③50%以上	【人権推進課】 「あやべ人権フェスタ2022」を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。 【社会教育課】 人権を考えるセミナーは、コロナ禍前と同じ中央公民館を会場に、回数を年5回に戻して実施した。 全市民研、人権教育講演会もコロナ禍前と同じく人数制限せずに、参加を呼びかけた。	【人権推進課】 継続して開催することで、さらに広く市民への啓発につなげていく。 【社会教育課】 人権を考えるセミナーは、コロナ禍前と同じ中央公民館を会場に、年5回の開催を実施する。全市民研、人権教育講演会は、人数制限せずに参加を呼びかける。市民や共催団体の実態やニーズに応じた講演内容を検討する。
4	1 平和をねがい祈りのあるまち	人権尊重社会の実現	人権推進課	人権福祉センター各種講座参加者数	年間	↑	4,076人	4,500人	2,185人	3,413人	75.8%	③50%以上	講座参加者については、依然として参加者の固定化や高齢化のため減少傾向にある。一方で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による参加者の減少は回復傾向にあるため、引き続き、市民ニーズに沿った事業等を行う。	継続事業については、引き続き実施し、さまざまな機会を通じて事業の周知を行う。 各種講座によっては、市民ニーズに沿った事業となるよう見直しを行い、趣旨を理解いただきながら魅力あるものにする。
5	1 平和をねがい祈りのあるまち	平和の発信と国際交流	企画政策課	綾部市民平和祈願の集い参加者数		→	150人 (H30)	150人	120人	80人	53.3%	③50%以上	令和4年8月15日に藤山（寺山）山頂にて開催し、約80人が参加した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、例年より参加者数が減少した。	毎年、終戦記念日である8月15日に開催しているため、今後も引き続き、平和等をテーマに市民団体と連携しイベントや啓発活動に取り組んでいく。
6	1 平和をねがい祈りのあるまち	平和の発信と国際交流	企画政策課	世界連邦推進綾部市小・中学生ポスター・作文コンクール応募数		↑	399点	460点	303点	400点	87.0%	②80%以上	市内全小・中学校へ作品の応募を依頼し、ポスター344点、作文56点の作品が集まった。うち、最高位である文部科学大臣賞をはじめ、6点が全国コンクールで入賞した。 作品数は増加傾向にあるが、類似のコンクールが多数あるため、学校ごとの取組により応募点数が左右される状況である。	生徒・児童数の減少などを考慮しつつ、様々な機会を捉えてコンクールの趣旨や目的などを周知し、より多くの取組・参加を図る。
7	1 平和をねがい祈りのあるまち	平和の発信と国際交流	企画政策課	綾部国際交流協会日本語教室等参加者数	年間	→	1,130人	1,130人	304人	542人	48.0%	④50%未満	綾部国際交流協会に委託し日本語教室や相談事業を開催した（日本語教室48回・相談事業48回）。参加者は学習者延べ214人・ボランティア延べ328人の計542人となった。	今後も、綾部国際交流協会と連携を密にし、日本語教室と相談業務を定期的（月4回）に開催する。また、外国人転入者の増加傾向を踏まえ、外国人への積極的なアプローチを行うことで参加者の増加に努める。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R3実績	①R4実績	R4達成率	R4達成区分	②R4実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
8	1 平和をねがい祈りのあるまち	防災対策の推進	防災・危機管理課	防災座談会などの開催数	5か年累計	↑	105回 (H27～R元)	125回	17回	31回	24.8%	④50%未満	自治会や民生委員等を対象に出前講座等を開催した。このほか、HPや広報紙など、各種メディアを活用した情報提供を行うことにより防災意識の高揚を図った。	今後も地域への出前講座等を通じて、災害に対する日ごろの備えや避難情報の発令基準、情報発信手段や取得方法、災害時にとるべき行動などを伝えることにより、防災知識の向上と防災意識の高揚に取り組む。
9	1 平和をねがい祈りのあるまち	防災対策の推進	防災・危機管理課	避難行動タイムライン作成組織数	累計	↑	4組織	21組織	31組織	40組織	190.5%	①100%以上	豊里地区を中心に、市職員がファシリテーターとなりワークショップを開催した。また、福知山河川国道事務所と連携し、高津町でワークショップを開催した。令和4年度は9自治会でタイムライン及び防災マップを作成した。	今後も市職員が地元に入りワークショップの進行役を担い、タイムライン及び防災マップ作成支援するなどバックアップ体制の構築を図る。
10	1 平和をねがい祈りのあるまち	防災対策の推進	建設課	急傾斜地崩壊対策事業・砂防対策事業新規実施箇所数	累計	↑	0箇所	5箇所	2箇所	2箇所	40.0%	④50%未満	令和4年度の実績なし ※令和2年度以降に急傾斜地崩壊対策事業として小西地区(小西町)、砂防対策事業として大島川(大島町)に事業着手(府事業)	対象候補地が多数ある中で、地元や府と調整を図りつつ、次の事業箇所を選定する。
11	1 平和をねがい祈りのあるまち	防災対策の推進	建築課	木造住宅耐震診断補助実施数	累計	↑	187件	270件	227件	243件	90.0%	②80%以上	広報紙等での周知により診断実施件数としては、16件で例年並みとなった。	引き続き市民に周知を図り事業を推進する。
12	1 平和をねがい祈りのあるまち	防災対策の推進	建築課	木造住宅改修補助件数	累計	↑	115件	195件	141件	151件	77.4%	③50%以上	広報紙等での周知により耐震改修件数としては、10件で例年並みとなった。	引き続き市民に周知を図り事業を推進する。
13	1 平和をねがい祈りのあるまち	消防・救急体制の充実	消防本部 予防課	訓練実施事業所・自治会数(防火座談会を含む)	年間	↑	109か所	200か所	118か所	132か所	66.0%	③50%以上	事業所の消火・避難訓練が86か所、防火座談会等の出前講座が46か所、計132か所の実施となり、増加となった。	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、出前講座の増加が見込まれる。事業所への立入検査により、事業所訓練未実施を指導し、是正する。
14	1 平和をねがい祈りのあるまち	消防・救急体制の充実	消防本部 管理課	各訓練・行事参加消防団員数	年間	↑	2,983人	3,000人	2,552人	3,974人	132.5%	①100%以上	消防団訓練、行事等をコロナ禍前と同様の規模、内容に戻し実施したことにより、参加団員数が増加した。	消防団員の各種訓練、行事などに参加しやすい環境づくりに取り組み、消防団活動の活性化を図る。
15	1 平和をねがい祈りのあるまち	消防・救急体制の充実	消防本部 管理課	綾部市消防団応援の店登録件数		↑	105件	120件	110件	114件	95.0%	②80%以上	積極的に登録促進に取り組んだが、新型コロナウイルス感染症の影響により、廃業や業態変更のため、消防団応援の店の登録を廃止される店舗もあり、登録店舗数は微増となった。	消防団応援の店の制度について更に広報を行い理解を得るとともに社会情勢を踏まえて登録促進の活動を行う。
16	1 平和をねがい祈りのあるまち	消防・救急体制の充実	消防本部 警防課	救命講習受講者数	累計	↑	13,108人	15,300人	13,539人	13,998人	91.5%	②80%以上	救命率の更なる向上を目的として事業を継続実施した。近年、新型コロナウイルス感染症の影響で開催回数及び新規受講者数が減少していたが、令和4年度は、おおむねコロナ禍前の水準に回復した。 事業名称：普通救命講習Ⅰ、開催形態：出前講座を中心に自治会、企業、学校単位で実施、開催回数：41回、新規受講者数：459人	今後はコロナ禍前と同程度の推移で、新規受講者数が増加していくものと予測しており、現在の事業展開を維持する。
17	1 平和をねがい祈りのあるまち	生活の安全性の向上	市民協働課	交通安全啓発活動参加者数	年間	↑	598人	650人	694人	534人	82.2%	②80%以上	安全・安心のまちづくり推進協議会として、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を取りながら関係機関と連携し、街頭啓発活動や交通安全教室を行った。	今後も引き続き、安全・安心のまちづくり推進協議会として、関係機関と連携し、街頭啓発や研修会などによる市民への交通安全意識の啓発や交通安全情報の提供を行う。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R3実績	①R4実績	R4達成率	R4達成区分	②R4実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
18	1 平和をねがい祈りのあるまち	生活の安全性の向上	市民協働課	防犯啓発活動参加者数	年間	↑	554人	650人	170人	237人	36.5%	④50%未満	安全・安心のまちづくり推進協議会として、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を取りながら関係機関と連携し、街頭啓発活動や講演会等を行った。	今後も引き続き、安全・安心のまちづくり推進協議会として、関係機関と連携し、街頭啓発などによる市民への防犯意識の啓発や犯罪情報の提供を行う。
19	1 平和をねがい祈りのあるまち	生活の安全性の向上	市民協働課	あやべ見守りCAR参加台数	累計	↑	291台	500台	398台	483台	96.6%	②80%以上	会議やイベントなど機会があるごとに広くチラシを配布し、登録を依頼した。	広く市民が集まる機会を活用して、事業の趣旨を理解いただき、引き続き登録台数の増加を目指す。
20	1 平和をねがい祈りのあるまち	生活の安全性の向上	商工労政課	消費生活出前講座受講者数	年間	↑	181人	255人	47人	218人	85.5%	②80%以上	8団体に対し出前講座を開催した。新たに高齢者学級での実施に取り組み、多くの人に受講してもらうことができた。	街頭啓発等の啓発活動とあわせて引き続き消費者被害の未然防止に努める。
21	2 自治を高め心のつながりのあるまち	市民活動の促進と地域の活性化	市民協働課	コミュニティ助成事業数	5か年累計	↑	36件 (H27～R元)	50件	6件	13件	26.0%	④50%未満	自治会等地域活動の拠点となる公会堂等施設の改修工事や地域コミュニティの活性化に資する事業について支援を行った。	活動拠点施設整備及び活動への支援を行うため、市ホームページでの広報により制度の周知を図るとともに、申請受付時期には全自治会長宛てに文書案内を行う。また、自治会等の未活用団体へ積極的な推進を行うことで更なる活用数増加に努める。
22	2 自治を高め心のつながりのあるまち	市民活動の促進と地域の活性化	市民協働課	自治会加入世帯率		↑	79.9%	85.0%	78.7%	77.6%	91.3%	②80%以上	自治会報償金や連合会補助金等による活動の支援を行っているが、自治会加入率は高齢化や外国人に関する問題等が影響しており、伸び悩みの状態にある。	自治会活動の支援等により、加入率の増加を目指す。綾部市自治会連合会と連携を図り、加入促進策を検討する。
23	2 自治を高め心のつながりのあるまち	市民活動の促進と地域の活性化	市民協働課	あやべボランティア総合センター登録団体数		↑	124団体	130団体	121団体	126団体	96.9%	②80%以上	コロナ禍での活動の在り方を模索する中で、徐々に活動が行われるようになり、登録団体数も増加した。	ボランティア活動の普及と充実を推進するため、登録団体の増加を目指す。
24	2 自治を高め心のつながりのあるまち	市民活動の促進と地域の活性化	市民協働課	あやべハートセンター利用件数	年間	↑	369件	400件	282件	337件	84.3%	②80%以上	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ、安心して利用していただくための環境づくりを行い、利用件数が増加した。	ボランティア活動を推進するため、安心して活動を行える拠点づくりを目指す。
25	2 自治を高め心のつながりのあるまち	男女共同参画社会の実現	人権推進課	社会全体で男女の地位が平等になっていると思う人の割合 (R6) (「綾部市男女共同参画」に関する市民意識調査 (5年ごとの実施))		↑	20.5%	30.0%	不明	不明	対象外	対象外	5年毎の実施のため令和4年度は実績なし	社会全体に男女平等な状況になることを目指し、積極的に改善が行われるよう広く啓発を行う。
26	2 自治を高め心のつながりのあるまち	男女共同参画社会の実現	人権推進課	あいアカデミーなど各種講座への参加者数	年間	↑	263人	300人	338人	420人	140.0%	①100%以上	講座の開催にあたって、新たに少人数の講座を複数回行うなど工夫し開催した。	新たな参加者の増加に向け、小学生までの子どもを持つ父親の育児促進を目的とした男性が関心を持ちやすいテーマの講座や、男女を問わず関心の高い「アンガーマネジメント」の講座、また防災分野における男女共同参画をテーマとした講座など、多岐にわたるテーマで開催することで更なる幅広い層の参加を促す。
27	2 自治を高め心のつながりのあるまち	男女共同参画社会の実現	人権推進課	審議会・委員会などにおける女性委員の比率		↑	30.0%	40.0%	30.1%	31.0%	77.5%	③50%以上	各所属において委員を任命するにあたり、充て職に寄らず女性を団体から推薦していただくなどの取組を行ったことにより、若干比率が増加したが、目標値の達成には至らなかった。	引き続き、女性委員の登用を推進するよう各所属に依頼する。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R3実績	①R4実績	R4達成率	R4達成区分	②R4実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
28	2 自治を高め 心のつながりのあるまち	情報の発信と共有	秘書広報課	綾部市ホームページのトップページアクセス件数	年間	↑	453,191件	500,000件	1,560,785件	953,867件	190.8%	①100%以上	令和5年2月に綾部市ホームページのフルリニューールを行った。リニューール後、ページが見やすく探しやすくなったと好評は得ている。しかし、アクセス数は、令和3年度が新型コロナウイルスやワクチン接種、支援制度などへの関心の高まりから、多くのアクセス（156万件）があったことに対し、令和4年度はコロナが一定落ち着いてきたことから、アクセス数は減少した。	広報紙やLINE、Facebookとの連携を引き続き行う。分類やトップページのメインビジュアルなど見直しを続け、より市民に見られ、必要な情報が伝わるホームページを構築する。
29	2 自治を高め 心のつながりのあるまち	情報の発信と共有	秘書広報課	FMいかるやあやべーる・地域メルマガ等への市政情報提供件数		↑	1,637件	1,700件	1,762件	1,852件	108.9%	①100%以上	FMいかるやあやべーる、地域メルマガ等を活用して市の情報を周知した。（令和4年度実績：プレスリリース1,171件、FMいかる506件、あやべーる（お知らせ）175件）	引き続き情報発信に努める。
30	2 自治を高め 心のつながりのあるまち	情報の発信と共有	行政デジタル推進課	地域メールマガジン登録件数		↑	6,144件	6,700件	6,540件	6,583件	98.3%	②80%以上	地域情報の受信手段としての役割があるメルマガということから若い世代から高齢者まで幅広いニーズがあり、一定範囲で広報はできていると感じている。なお、内容が地域情報であることから不特定多数の方への利用促進はできない。	高齢者等からメールの設定等で相談が多くある中、きめ細かな対応により情報格差の是正及びメールからの情報取得を希望される方の登録件数の増加に努めたい。また、令和5年度中にはメールマガジンと同じく地域情報を受信できるアプリを構築予定であり、本アプリの利用を促進させたい。
31	2 自治を高め 心のつながりのあるまち	健全な行財政運営と広域連携	企画政策課	ふるさと納税件数	年間	↑	910件	1,400件	1,777件	1,745件	124.6%	①100%以上	寄附件数1,745件、寄附金額102,997,051円	中間事業者及び各ポータルサイト事業者と連携し、新たな返礼品の拡充及び情報発信の強化により利用拡大を図る。
32	2 自治を高め 心のつながりのあるまち	健全な行財政運営と広域連携	企画政策課	企業版ふるさと納税件数	累計	↑	2件	12件	5件	16件	133.3%	①100%以上	寄附件数11件、寄附金額46,000,000円	企業への情報発信、営業活動を強化する。
33	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	幼稚園、小・中学校教育の充実	学校教育課	小学校と連携した幼稚園教育が実施できていると感じている保護者の割合		→	100%	100%	100%	100%	100.0%	①100%以上	コロナ禍ではあったが感染症対策をとりながら幼小連携推進事業の計画に沿って、園と小学校の子ども同士の交流活動や教師の研究会が進められた。体験活動は徐々にコロナ禍以前の形に戻ってきており、園児は学びの基盤となる意欲や根気、社会性などの力を付けた。	今後も幼小連携事業を中心に、架け橋期の2年間をイメージしながら「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識した園教育と、その育ちを踏まえた小学校教育の充実を努める。保護者が作成する「入学前のお知らせとお願い『ここにこ』」や年度末に園と保護者、関係機関が共同で作成する「移行支援書」等をさらに活用して、就学前から小学校とつながる機会が確保されるような取組を継続する。
34	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	幼稚園、小・中学校教育の充実	学校教育課	将来の夢や目標を持つ子どもの割合（中3）		↑	64%	80%	73%	76%	95.0%	②80%以上	コロナ禍の時期に比べ、社会科学習や職場体験学習において施設見学等の実施ができる学校が増えた。コロナ前と比べると、仕事や働くことを実感する機会は少なかったが、各校での様々なキャリア教育の取組（キャリアパスポート・ドリウムマップ等）を通して自分の将来について考えられている。	感染症対策を行いつつ、施設見学や職場体験の機会を充実させる。小中一貫の視点でキャリア教育の取組を充実させ、自分の特徴や将来について考える機会を大切にす。キャリア教育を軸としたカリキュラムマネジメントを実践し、将来の夢や希望を持たせながら、それにつながる進路実現をめざす取組を進めたい。
35	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	幼稚園、小・中学校教育の充実	学校教育課	地域の行事に参加する子どもの割合（中3）		↑	67%	75%	70%	71%	94.7%	②80%以上	キャリアパスポートの取組や進路学習を通して自分の将来について考える機会が増えているが、将来の夢や目標を考えさせる取組は十分ではなく、将来への展望が持ちにくい生徒も一部見られる。	キャリア教育を軸としたカリキュラムマネジメントを実践し、小中一貫教育の特色を生かしながら将来の夢や希望を持たせ、それにつながる進路実現をめざす取組を進めたい。施設見学や職場体験の機会を充実させ、体験から働くことの意義について考えさせる。学校生活のいろいろな場面でキャリア教育の取組を充実させ、自分の特徴や将来について考える機会を大切にす。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R3実績	①R4実績	R4達成率	R4達成区分	②R4実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
36	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	幼稚園、小・中学校教育の充実	学校教育課	中学校卒業時の英語検定3級以上取得者の割合		↑	39%	65%	48.2%	44.0%	67.7%	③50%以上	英検3級以上取得者の割合は昨年度よりも低かったが、英語科の教員が授業改善を進める中で、英語に興味を持ち、英検3級取得へチャレンジする生徒が増え、意欲は年々高まっているといえる。	4技能習得を意識した授業改善をさらに進めることで、英語学習に意欲的な生徒を育成し、英検3級以上の取得率を向上させたい。
37	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	高齢者学級参加者数	年間	↑	2,459人	2,500人	821人	1,638人	65.5%	③50%以上	市内12地区で、年間2～7回開催。健康教室や演奏会、レクリエーション、人権学習等を行った。老人クラブの解散や加入会員の減少に伴い、高齢者学級の参加者も減少傾向にある。新型コロナウイルス感染症の影響や、台風の影響で中止になったところもあったが、概ね計画通りに開催することができた。	地域の実情にあった運営面での工夫や講座内容の充実に努めることにより、現状での利用人数の確保を目指す。
38	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	障害者教室参加者数	年間	↑	347人	350人	140人	255人	72.9%	③50%以上	青年学級、成人教室、視覚・聴覚・難聴講座の5講座を開催。スポーツや絵手紙作成、健康体操、音楽鑑賞、講座の合同交流会等、年間計22回の講座を実施した。	講座内容等の工夫を行い、参加者数を確保し、現状維持を目指す。
39	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	地区公民館利用件数	年間	↑	3,968件	4,000件	3,020件	3,482件	87.1%	②80%以上	公民館ごとの特色ある自主事業を通じて、施設の利用促進を図った。 新型コロナウイルス感染症拡大による影響で利用件数が減少していたが、少しずつ回復している。	指定管理者による地域の実情に合った公民館運営により現状での利用件数・利用人数を確保する。
40	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	中央公民館利用件数	年間	↑	771件	780件	595件	694件	89.0%	②80%以上	貸館事業や自主事業（中丹ふれあいアカデミー）を開催した。 新型コロナウイルス感染症拡大による影響で利用件数が減少していたが、少しずつ回復している。	貸館業務並びに自主事業の開催により、利用件数並びに利用者数の確保を図る。
41	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	図書館貸出冊数	年間	↑	130,190冊	186,000冊	130,711冊	126,254冊	67.9%	③50%以上	こどものためのお話を絵本コーナーで再開して楽しい雰囲気を感じていただけるように努めるとともに、認知症や自殺予防展示とともに本の特集を行い、来館するたびに違う雰囲気を感じていただけるよう工夫した。	図書館をさらに利用いただけるように、引き続き利用者のご意見を聞きながら貸出冊数を増やしていけるよう図書館を運営していく。
42	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	図書館ホームページ及びオンライン蔵書目録アクセス件数	年間	↑	29,086件	41,000件	29,873件	30,801件	75.1%	③50%以上	安心して図書館行事に参加・来館いただけるように既存の取組の中で実施している安全対策をHPでお知らせしたり、お話を実施した後の報告を行った。	図書館をさらに利用いただけるように、引き続き行事やお知らせの報告・案内等の情報発信を行う。
43	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	天文館入館者数	年間	↑	11,794人	12,000人	5,653人	8,719人	72.7%	③50%以上	入館時には消毒、検温、マスクの着用をお願いし、3年ぶりに開催したシアターでの催しには整理券を発行して入場者を制限するなど、感染防止対策をしながらイベントを開催した。 皆既月食特別観望会の開催や新展示機器「ミニプラネタリウム」を導入し、魅力ある施設づくりに努めた。	今後も天文館という施設の特徴を生かして、更に魅力ある施設となるよう施設の整備を行い、ニーズに合った催しを企画していく。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R3実績	①R4実績	R4達成率	R4達成区分	②R4実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
44	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	資料館利用者数	年間	↑	2,508人	2,550人	1,378人	2,000人	78.4%	③50%以上	令和4年度は、コロナ禍で行動制限がある中で、感染防止対策に努めながら発掘体験や古文書等のミニ企画展、山家城跡・山家陣屋跡の企画展示や古文書講座など、積極的に実施した。 (具体的な取組) ・遺跡発掘体験 ・古文書展示などのミニ企画展(2回) ・3館合同企画久田山フェスティバル ・古文書講座 ・山家城址・山家陣屋跡の企画展	今後も展示や各種行事の企画、運営及び講座等の情報発信を積極的にを行い、資料館の来館者増加を目指す。特に子ども向けの行事を実施し、文化財をはじめとする歴史資料に触れる機会が得られる場所として企画を行う。 また常設展示にも興味を示してもらえよう努める。
45	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	青少年健全育成の推進	社会教育課	青少年地域活動支援事業補助金交付団体数	年間	↑	29団体	30団体	3団体	7団体	23.3%	④50%未満	異世代間交流や体験活動などを通じて、青少年の健全な育成を促進するため、子ども会等地域の青少年育成団体に補助金を交付した。 新型コロナウイルス感染症により活動自体自粛傾向にあり、また中止や時間数の減少等により、申請後に辞退する団体が10団体あった。	近年、申請数が横ばい傾向であるとともに、申請団体が固定化されている中、学校などを通じ、より多くの子ども会等に周知を図り活用を促す。
46	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	青少年健全育成の推進	社会教育課	一斉声かけ参加者数	年間	↑	720人	850人	636人	560人	65.9%	③50%以上	11月18日を全市一斉声かけの日として実施した。公民館、PTA、学校等が連携した取組となっている。新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、例年通りの取組ができた。	「地域の子どもは地域で守り育てる」という機運を高めるため、きっかけづくりの事業として、より多くの参加者が得られるよう育成協賛画団体等にさらに呼びかけ、参加者の増を目指す。
47	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	優良建築物活用事業利用件数	年間	↑	16件	18件	9件	12件	66.7%	③50%以上	優良な建築物で展覧会等を行いたい利用者に対し、会場使用料の一部を市が負担することにより、文化・芸術活動を支援した。	コロナ禍の影響により、利用件数は伸び悩むが、年間を通じて書や絵画をはじめとした文化活動の展示、発表の場としての利用がある。引き続きPR活動を行うとともに、近接する特産館とも協力をしながら適切な運営に努める。
48	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	市美術展作品出展数		↑	266点	280点	248点	232点	82.9%	②80%以上	基本的な感染症対策を行い実施した。コロナ禍では、ギャラリートークを録画とし会場内でリピート上映していたが、3年ぶりに再開した。	引き続き、関係団体や高校とも連携を図り、出展数の増加を図りたい。
49	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	市美術展入場者数		↑	2,557人	2,600人	897人	1,625人	62.5%	③50%以上	前年は中止となったアートフェスタと同時開催し、相乗効果により来場者数が前年にくらべ大幅に増加した。	更なるPRに努め、市民の鑑賞の機会を提供していく。
50	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	総合文化祭作品出展数		↑	1,332点	1,400点	1,730点	1,776点	126.9%	①100%以上	文化協会会員の活動の成果の発表の場として、コロナ禍にもかかわらず多くの作品が出展された。市民の文化活動の総合的な発表・鑑賞の場として市民文化の向上に貢献できた。	文化協会の充実発展と自主的事業の展開に向け、継続して支援を実施する。
51	3教育をたいせつにし文化のかおるまち	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	総合文化祭入場者数		↑	5,674人	5,700人	3,670人	3,982人	69.9%	③50%以上	コロナ前より入場者数は減少しているが、幼児児童生徒の作品も展示し、多くの市民の来場があり、市民文化の向上に貢献できた。	多くの市民の方が入場しており、市内の文化振興につながっている。市内最大の文化活動鑑賞の場として今後も支援していく。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R3実績	①R4実績	R4達成率	R4達成区分	②R4実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
52	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	中丹文化会館入場者数	年間	↑	45,060人	50,000人	20,097人	34,886人	69.8%	③50%以上	計画通り事業が進められた。 会館利用者の増加を図るため、鑑賞型事業を積極的に行われた。	中丹文化事業団については、鑑賞型事業はもちろんのこと、参加型事業、芸術文化創造活動の育成事業などを積極的に展開されており、引き続き支援を実施する。
53	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	環境保全と廃棄物対策の推進	環境保全課	1人当たりごみ排出量（家庭ごみ）	年間	↓	189kg	180kg	187kg	186kg	96.8%	②80%以上	ごみ分別の徹底など、ごみ減量化・資源化の取組推進により、燃やして処理するごみは、年々減少傾向にあるが、燃やさないで処理するごみは、過疎・高齢化等から、空き家の片付けなどが要因と思われるごみが増加している。	引き続き、ごみ分別の徹底とごみ減量化・資源化の普及推進に努める。
54	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	環境保全と廃棄物対策の推進	環境保全課	資源物（紙類）回収量	年間	↑	1,041 t	1,500 t	868 t	923 t	61.5%	③50%以上	資源回収補助金制度により、自治会やPTA等の団体による自主的な資源回収を支援した。 新型コロナウイルス感染症の影響が緩和され回収量の増加がみられるが、ネットニュース等の普及に伴う新聞紙等の減少により、目標とする回収量は達成できなかった。 団体 858,430kg＋クリーンセンター持込64,780kg＝923,210kg	紙類を少しでも多く、資源として出してもらうように資源回収補助金制度や古紙回収用保管庫設置費補助金制度のPRを行い、登録団体・回収量の増加に努める。
55	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	環境保全と廃棄物対策の推進	環境保全課	リサイクル推進員研修会参加率		↑	57%	65%	44%	32%	49.2%	④50%未満	例年、「ごみ減量化の取組について」「ごみ処理状況について」の研修会を行っており、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ、実施した。	参加率の向上を図るため、研修内容や開催日等を検討する。
56	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	地域福祉社会の実現	高齢者支援課	地域福祉活動補助金交付件数	年間	→	32件	32件	26件	22件	68.8%	③50%以上	交付22団体の内8団体で交付額の減額変更申請があるなど、新型コロナウイルス感染症の影響により高齢者が集まるサロン活動が十分にできない状態であった。感染予防対策を行いながら、見守り・交流活動継続してもらえるように検討を行った。	感染の心配からサロン活動が縮小し、利用控えにより人が集まらない状況である。また組織の運営に必要なボランティアの新規確保が困難になって、運営側も高齢化している。以前のように安心してサロン活動できるよう。アフターコロナへの対応の確立及び周知が必要と思われる。
57	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	地域福祉社会の実現	こども支援課	シルバー・チャイルドハウス事業実施団体数	年間	↑	6か所	8か所	6か所	6か所	75.0%	③50%以上	高齢者が中心となって子どもとの交流を行う団体に対して補助金を交付し、活動を支援した。 コロナ禍において感染防止対策を徹底して実施することで、子どもと高齢者との交流の場を提供し、また、地域の人とともに、子どもが各種ふれあい活動に参加することで、世代間交流、子育て活動を促進した。 延べ開催回数76回 参加延人数1,358人（子ども596人、指導者762人）	高齢者が中心となって子どもとの交流を行う団体に対して補助金を交付し、子育て活動及び世代間交流を支援する。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R3実績	①R4実績	R4達成率	R4達成区分	②R4実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
58	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	子育て環境の充実	こども支援課	児童館・児童センター利用児童数	年間	↑	8,590人	8,600人	6,089人	6,204人	72.1%	③50%以上	児童福祉法に基づき、児童の健康増進と情操を豊かにすることを目的に運営した。 市内3施設において、それぞれ未就学児を対象とした「ひろば」を計画的に開催するなど、利用促進に努めた。 令和3年4月から西八田放課後児童健全育成学級が開設されたことから、なかすじ児童センターでは、小学生の利用者が減少し、目標値を達成することができなかった。	多くの児童に利用していただける効果的な事業実施に努め、施設の適正運営に努める。
59	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	子育て環境の充実	こども支援課	保育所、認定こども園への入所(園)希望者の入所(園)率	年間	↑	99.4%	100%	100%	100%	100.0%	①100%以上	子育て世帯が安心して暮らし、働くことができるよう幼児教育・保育の場(保育所等9施設)を提供するとともに、幼児教育・保育の認定や各施設への入所調整を適正に実施した。 9施設の内訳(公立保育所1施設、私立保育所2施設、私立認定こども園6施設)	引き続き、子育て世帯が安心して暮らし、働くことができるよう幼児教育・保育の場(保育所等9施設)を提供するとともに、幼児教育・保育の認定や各施設への入所調整の適正実施に努める。
60	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	子育て環境の充実	こども支援課	ファミリー・サポート・センター会員数		↑	120人	150人	151人	166人	110.7%	①100%以上	社会福祉法人への業務委託により、綾部市ファミリー・サポート・センター事業を実施した。 会員相互の援助活動により、仕事と育児の両立を支援し、安心して子育てができる環境づくりを推進した。 【令和4年度未会員数(166人)の内訳】 おねがい会員116人 まかせて会員46人 両方会員4人	経験と実績がある社会福祉法人への業務委託を継続し、会員の獲得と会員相互の援助活動の推進に努める。
61	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	高齢者福祉の推進	高齢者支援課	介護職員研修受講補助者数	年間	↑	-	10人	8人	7人	70.0%	③50%以上	介護職員研修受講補助利用者については、市内事業所への周知により一定の利用者数があった。資格取得により、雇用の安定につながっている。 福祉就職フェアの際に、就業への後押しとなるような他の補助制度と合わせて案内している。	市内事業所へ研修受講の協力及び周知の依頼を行い、利用者数の増加を目指す。 また、就職イベント等に配布する等、従事者でない層への広報・啓発により新規の従事者確保を図る。
62	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	高齢者福祉の推進	高齢者支援課	認知症サポーター養成講座受講者数	累計	↑	11,408人	13,500人	11,818人	12,062人	89.3%	②80%以上	令和4年度のサポーター養成講座は17回開催、新規養成者数244人であった。地域の各種団体の活動再開に伴い、少しずつ人の集まる場が増え、目標数に達していないが新規養成者の人数は前年度より増えた。学校や職場での開催は6回にとどまっている。	若い世代への理解や啓発のため、職域や学校関係などへ講座の周知を行う。また、地域の各種団体への呼びかけを引き続き行い、地域で認知症の人や家族を支える理解者を増やして認知症の人が安心して暮らせるまちづくりを行う。
63	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	高齢者福祉の推進	高齢者支援課	清山荘入館者数	年間	↑	26,705人	30,600人	16,655人	17,792人	58.1%	③50%以上	新型コロナウイルス感染症拡大による入館者数の減少は続いたものの、令和3年度以前のような行動制限がとられなかったこと、感染予防対策をとり、安心して来られる場所として指定管理者が工夫を重ねたことにより、高齢者の活動も再開の兆しが見え、イベントの再開等により前年度より入館者が増加した。	開館後30年以上が経過する中で、利用者のニーズとあっていない箇所があり、指定管理者と連携しながら、利便性の向上、感染防止策を徹底して、必要な改修を行いつつ、利用者の増加に努める。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R3実績	①R4実績	R4達成率	R4達成区分	②R4実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
64	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	障害者福祉の推進	障害者支援課	障害者生活支援事業相談件数	年間	↑	16,393件	16,400件	16,511件	14,387件	87.7%	②80%以上	全体の相談件数は減少しているが、虐待が疑われるケースや緊急対応を要するケース、緊急に入所先を探さないといけないケースなどが年々増加している。	相談支援事業所の体制強化や基幹相談支援センターによるバックアップを図る。
65	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	障害者福祉の推進	障害者支援課	障害者介護給付費等支給事業利用者数	年間	↑	5,121人	5,520人	5,263人	5,229人	94.7%	②80%以上	居宅介護、同行援護、生活介護等利用者ニーズに応えた支給決定及びサービス利用となるよう努めた。	障害福祉サービス事業所の拡充について支援をするなど、サービス提供基盤の整備に取り組み、多様なサービス利用につなげていく。
66	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	障害者福祉の推進	障害者支援課	地域活動支援センター利用者数	年間	↑	956人	966人	860人	957人	99.1%	②80%以上	社会参加の場として多数の利用者に参加いただいた。事業内容もより多くの方が参加しやすいものになるよう見直しも行った。	若年層や知的、精神障害者などにも利用しやすい場所となるよう、今後も一層の参加への促しを行う。
67	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	障害者福祉の推進	障害者支援課	精神障害者社会復帰相談者数	年間	↑	2,986人	3,080人	2,065人	2,277人	73.9%	③50%以上	相談支援事業所の側面の支援を中心に相談支援を行った。令和3年度からは基幹相談支援センターとして相談対応を行っている。	専門職を中心に、基幹相談支援センターとして支援を継続する。
68	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	保健の推進	保健推進課	乳幼児健康診査受診率	年間	↑	97.3%	98.5%	98.8%	98.6%	100.1%	①100%以上	少子化の影響により、健診の実施回数が減少している。コロナ禍の影響での健診中止は無かった。体調不良、日程の都合等で延期される方がおられるが、随時勧奨を行っている。その他、健診結果にて発育発達面のフォローに繋げている。	今後も未受診者の把握を行い、通知、電話、訪問等で勧奨をし、受診を促進する。また、健診受診者数の現状維持を目指す。
69	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	保健の推進	保健推進課	あやちゃん健康ポイント事業取組人数	年間	↑	1,185人	1,325人	840人	953人	71.9%	③50%以上	コロナ禍で減少していた参加者数は、やや増加したが、コロナ禍前の状態には戻っていない。	社会活動が戻りつつある中で、効果的なPRをしていくことが必要である。働き盛り世代へのPRを積極的に行っていく。
70	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	保健の推進	保健推進課	がん検診受診率	年間	↑	18.8%	22.0%	18.0%	19.3%	87.7%	②80%以上	令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響により、受診率が減少傾向だったが、回復しつつある。しかし、目標値にはまだまだ届かない。京都府大規模実証事業にて、受診勧奨の効果検証を行い、定期的な受診勧奨、勧奨案内の見直しを行った。また、令和5年度に向けては、大幅に健診案内を見直した。	健診案内を大幅に見直したことで、その効果と新たに見えてきた課題について見直ししていく。引き続き、受診率向上に向けて、広報・勧奨方法・精密検査精度管理の見直しを行っていく。
71	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	保健の推進	市民・国保課	特定健康診査受診率	年間	↑	34.6%	60.0%	32.4%	33.2%	55.3%	③50%以上	個別健診の通年実施、集団健診の休日実施、健診のお知らせによる周知、データ分析に基づく受診勧奨、保健師による戸別訪問、無料クーポンの送付等の取組を行い、受診環境の整備、受診への啓発を行った。新型コロナウイルス感染症等による受診控えの影響で受診率が低迷しているため、受診率向上に向けた取組を行う必要がある。	個別健診の通年実施、集団健診の休日実施、健診のお知らせによる周知、データ分析に基づく受診勧奨、保健師による戸別訪問、無料クーポンの送付等の取組を行い、受診環境の整備、受診への啓発を行う。また、かかりつけ医との連携した受診啓発の検討を行う。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R3実績	①R4実績	R4達成率	R4達成区分	②R4実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
72	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	保健の推進	市民・国保課	国民健康保険料収納率	年間	↑	96.57%	97.00%	97.61%	97.52%	100.5%	①100%以上	納付書送付時に口座振替推進チラシ及び口座振替依頼書を同封し、広報紙やホームページへの掲載等により積極的に口座振替の推進を図っている。また、納期に振替不能となった場合は、通知の上、再振替処理をするなど、確実な納付を図った。きめ細やかな納付相談を行った結果、京都市内でも高い収納率を維持している。	引き続き、口座振替の推進とコンビニ納付の活用により、確実な納付となるよう納付環境を整えるとともに、きめ細やかな納付相談を行う。また、京都府地方税機構と連携を密にし、収納率向上を図る。
73	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	医療体制の充実	保健推進課	奨学金貸与人数（医師）	5か年累計	↑	4人 (H27～R元)	5人	0人	0人	0.0%	④50%未満	申込みがなかったため、実績なし。	今後も奨学制度のPRを行い、医師確保に努める。
74	5 産業をおこし豊かなくらしのあるまち	農林業・内水面漁業の振興	農政課	京力農場プラン策定集落数	累計	↑	41集落	47集落	47集落	51集落	108.5%	①100%以上	中山間地域等直接支払交付金における集落戦略を同種取り決めとすることにより、3月27日に開催した検討会にて4集落で新たにプランを策定。また、農地中間管理機構関連農地整備事業に伴う1集落のプランを見直した。	プラン策定の推進により、目標の47集落を超える51集落での策定を達成。プランを必要とする集落での策定がかなり進んでいるので今後の策定は鈍化する可能性がある。法改正により、プランが「地域計画」として法定化され、市町村が策定することになる（今までは集落がプランの作成主体）。「地域計画」では農業を担う者と農地1筆ごとの将来の利用者を明確にした「目標地図」を新たに作成することが必要となる。
75	5 産業をおこし豊かなくらしのあるまち	農林業・内水面漁業の振興	農政課	認定農業者数（個人・法人）	年間	↑	48経営体	55経営体	50経営体	49経営体	89.1%	②80%以上	認定農業者をやめられた方と新たに認定する方がほぼ同数のため、実績としては1減となった。令和4年度新規認定→1経営体 令和4年度やめられた方→2経営体	補助制度を活用する場合、認定農業者であると補助率が優遇されたり、認定農業者でないと活用できない補助制度もある。令和5年度においては認定農業者限定の綾部市独自の補助事業を実施する。認定されるメリットを丁寧に説明し目標達成につなげる。
76	5 産業をおこし豊かなくらしのあるまち	農林業・内水面漁業の振興	農政課	新規就農者数（支援事業活用分）	累計	↑	66人	73人	68人	68人	93.2%	②80%以上	新規就農の相談は継続的にあるものの（7件）、制度を活用して行政の支援が必要となる新規就農相談は極めて少ない。	新規就農の相談等は継続的にあり、制度を使う候補者は複数人いる状態。現在、令和6年度から農業経営チャレンジ支援事業の活用に向け、実践農場を設置する場所や指導者の選定を関係機関と調整中。
77	5 産業をおこし豊かなくらしのあるまち	農林業・内水面漁業の振興	林政課	有害鳥獣被害面積	年間	↓	2,356a	1,154a	2,262a	2,714a	42.5%	④50%未満	市全体を見た場合、昨年度と比較して被害発生地区と獣種の傾向に大きな差がなく、被害面積・被害金額ともに増加となった。侵入防止柵の整備等で防除の対策を講じて一定の成果は上がっているものの、未整備地区で被害が発生するなどの傾向があり、引き続き整備を行う。	平成23年度に整備した電気柵の耐用年数が切れ、ワイヤーメッシュ柵も耐用年数が迫ってきており、施設も老朽化してきている状況である。侵入防止柵の整備による効果はあるため、今後も計画的に順次更新を行うことと併せて、鳥獣の捕獲や追払いも行っていく。
78	5 産業をおこし豊かなくらしのあるまち	農林業・内水面漁業の振興	林政課	森林経営管理権集積計画	累計	↑	0団地	6団地	1団地	2団地	33.3%	④50%未満	令和元年度に設定したモデル地区の2地区にて、それぞれ集積計画を策定した。うち地権者の同意が得られなかった共有林については制度の特例を活用し経営管理権を取得し、間伐実施を行った。	引き続き、意向調査実施計画に基づき市が集積すべき森林を設定していく予定である。また、地元からの要望に基づき随時の森林整備も進めていく。
79	5 産業をおこし豊かなくらしのあるまち	商工業の振興と雇用促進	商工労政課	空き店舗活用支援事業支援件数	累計	↑	4店	10店	6店	6店	60.0%	③50%以上	新規出店はなかったが、綾部商工会議所と連携し、出店から2年未満の2件に対しても継続して支援を行った。支援対象を賃貸による出店に加え、購入による出店にも拡大した。	支援対象を綾部市立地適正化計画に定める都市機能向上エリアでの出店に拡大し、さらなる空き店舗の減少を図る。また、引き続き綾部商工会議所との連携に努め、制度のPRを図る。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R3実績	①R4実績	R4達成率	R4達成区分	②R4実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
80	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	商工業の振興と雇用促進	商工労政課	チャレンジショップ支援事業費補助金交付件数	累計	↑	45店	59店	53店	57店	96.6%	②80%以上	4件(飲食業1件、宿泊業1件、サービス業1件、教育1件)に対し補助金を交付するとともに、地区商工繁栄会等への加入促進を図った。	引き続き、綾部商工会議所や地区商工繁栄会等との連携に努め、制度のPRを図る。
81	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	商工業の振興と雇用促進	商工労政課	(一社)綾部工業研修所卒業業者数	累計	↑	1,750人	2,030人	1,810人	1,839人	90.6%	②80%以上	企業訪問等の際に綾部工業研修所の受講を案内し、基礎コースは18人が卒業。また上級コースでは11人が修了し、修了者は72人となった。コロナ禍で企業からの派遣が困難な状況であった。	周知に努め、受講者数の増加に繋げる。
82	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	商工業の振興と雇用促進	商工労政課	北部産業創造センター内の機械貸付件数(市内企業)	年間	↑	356件	460件	524件	404件	87.8%	②80%以上	企業訪問等の際に周知に努め、利用促進を図ったが、コロナ禍の影響で貸付件数が減少した。	引き続き北部産業創造センターのPRを行い、更なる利用促進を図る。
83	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	商工業の振興と雇用促進	商工労政課	事業所実態調査総売上額	年間	↑	1,434億円	1,580億円	1,803億円	1,738億円	110.0%	①100%以上	製造出荷額等の増加を図るため、生産体制の強化や設備導入に対応する補助金等の周知に努めた。	新型コロナウイルス感染症の影響から回復基調にあるが、人件費、原材料費、エネルギー価格の高騰など注視が必要。今後も国等の補助制度等の利用促進や支援に努めていく。
84	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	商工業の振興と雇用促進	商工労政課	ふるさと就職支援情報発信事業提供者数	累計	↑	598人	750人	670人	705人	94.0%	②80%以上	綾部高校の生徒や都市部の大学生等へ登録促進を図った。定住・地域政策課と連携し、移住希望者への登録促進を図った。	引き続き、綾部市雇用促進連絡会議や定住・地域政策課との連携に努め、制度の登録促進を図り、就職フェア、インターンシップ等の情報を発信する。
85	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	観光と交流の推進	観光交流課	日帰り観光客数	年間	↑	548,813人	560,000人	299,897人	437,254人	78.1%	③50%以上	新型コロナウイルス感染症の水際対策の緩和や行動制限もなくなり、丹の国まつりや水無月まつりなど市の催しをはじめ、地域や各団体の催しの復活や旅行者が催行するツアーなどの影響も受け、少しずつ人流が活発になってきたことも回復への要因の一つとして捉えている。特にゴールデンウィークや行楽シーズン、花のシーズンを中心に綾部への訪問客が増えたことによるものと考えられる。	コロナ禍で落ち込んだ観光誘客を取り戻すために、森の京都DMOや海の京都DMOと連携しながら、情報発信に努めるとともに、データ分析で綾部の強みの一つとして『花』が挙げられた。こうした花の名所の充実や自然の中で楽しめるカヌーやサイクリングを始めとしたレジャー・スポーツやあやべ温泉で楽しめるキャンプなどをアピールポイントとして強化していきたい。
86	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	観光と交流の推進	観光交流課	宿泊観光客数	年間	↑	50,230人	58,500人	41,367人	42,358人	72.4%	③50%以上	里山交流研修センターが改装中であったため、大きな伸びは見られなかったものの、日帰りと同様にコロナ禍が一定落ち着きはじめ、国や府の旅行割引施策などによるツアー客の回復や、市独自の施策として農家民宿を活用した体験プログラムの支援を実施するなど、観光誘客が増加傾向に転じた。	農家民宿等の開業を支援し宿泊施設の増加に努める。またリニューアルオープンした里山交流研修センターの利用拡大をはじめとした宿泊客の獲得へ向けて森の京都DMOや海の京都DMOと連携しながらプロモーション活動や情報発信の強化に努める。
87	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	観光と交流の推進	定住・地域政策課	水源の里指定集落における都市交流人口	年間	↑	20,912人	28,800人	7,452人	5,877人	20.4%	④50%未満	各集落や協議会において、地元の方や大学、ボランティアと農村都市交流を実施するとともに、水源の里フェスタを初めて開催したが一方で、雪害によりシヤガ・ミツマタ群生地が4月下旬まで閉園したため来園者が激減したことにより、交流人口目標は大幅に下回った。	地元の方や他団体の協力も得ながら農村都市交流を推進するとともに、水源の里集落や協議会が実施する都市交流事業・合同イベント等を活用し、交流人口、関係人口の更なる増加を図る。
88	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	観光と交流の推進	観光交流課	里山ねっと・あやべ交流事業参加者数	年間	↑	2,775人	7,000人	1,201人	230人	3.3%	④50%未満	本年度は施設整備工事を施工したことから施設外の限られた場所で農村暮らしや食に関わる体験事業を行った。参加人数は施設利用を停止したことにより大きく減少しているが、新しい施設の利用により交流事業に参加していただけよう情報発信などに努めた。	新施設の整備に合わせてワーキングスペースや体験など幅広く交流事業に活用いただけるような設えとしており、近隣住民や農家民宿と連携した魅力ある都市農村交流事業を展開していくこととしている。具体的には地域おこし協力隊の活用も視野に入れながら、地域との連携を密にし、関係人口増加につながる事業を展開していくこととしている。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R3実績	①R4実績	R4達成率	R4達成区分	②R4実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
89	5産業をおこし 豊かなくらしのあるまち	観光と交流の推進	秘書広報課	あやべ特別市民制度登録者数		↑	1,858人	2,000人	1,718人	1,613人	80.7%	②80%以上	特産品の発送や広報紙などの情報発信により、会員に本市の良さを広くPRするとともに、イベントなど機会あるごとに募集チラシを配布し、会員の拡大に努めた。また、自治会の組回覧で市民への周知を行い、制度を知らなかった人数名の入会があった。	製品の内容を精査し、積極的に新しいものを取り入れるとともに、SNSでの発信を充実させて会員の拡大に努める。
90	5産業をおこし 豊かなくらしのあるまち	移住・定住の促進	定住・地域政策課	定住世帯数（定住サポート総合窓口扱い）	累計	↑	242世帯	360世帯	311世帯	350世帯	97.2%	②80%以上	定住実績が39世帯71人となり、世帯では定住サポート総合窓口開設以来最多となった（3年連続更新）。また、京都市に開設した「あやべ定住サポート京都サテライト店」では、職員が出向く出張相談や特産品等の物品販売をするあやべ市（いち）を実施。京都サテライト店での相談をされた方が移住に至ったケースが1件あった。	定住希望者をさらに呼び込むためには空き家の確保が必要であり、今後は空き家の掘り起こしに努めていく。また、定住施策を広く情報発信していくためにも、京都サテライト店での取組を継続していく必要がある。
91	5産業をおこし 豊かなくらしのあるまち	移住・定住の促進	定住・地域政策課	こころへのことつたえ隊員数	累計	↑	25人	110人	35人	38人	34.5%	④50%未満	移住立国ホームページの改修を行った。リーダーを中心に移住者紹介動画の作成を実施するなど情報発信を行った。	こころへのことつたえ隊員拡大のPRや、隊員と協力し、新たな情報発信の促進に取り組む。
92	5産業をおこし 豊かなくらしのあるまち	移住・定住の促進	定住・地域政策課	水源の里への定住世帯数	累計	↑	29世帯	41世帯	36世帯	41世帯	100.0%	①100%以上	水源の里集落でイベントを開催し交流人口を増やす取り組みを行った。また、ブログやFacebookを活用し水源の里の魅力発信を行った。	引き続き、水源の里集落の対象集落へ指定を受けていただくよう促すとともに、あわせて空き家登録も促してゆく。
93	5産業をおこし 豊かなくらしのあるまち	移住・定住の促進	定住・地域政策課	水源の里指定集落数	累計	↑	17集落	23集落	19集落	20集落	87.0%	②80%以上	新たに1地区が指定集落となった。（水源の里・坊口） 水源の里指定集落活性化事業などに対し補助金を交付するとともに人的支援を行った。	水源の里集落の指定を促進するとともに、定住促進と活性化を支援していく。
94	5産業をおこし 豊かなくらしのあるまち	スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	市民駅伝参加登録チーム数		↑	127チーム	130チーム	83チーム	89チーム	68.5%	③50%以上	コロナ禍により、参加チームは例年より減少しているが、多くのチームに参加いただいており、健康増進と競技力の向上、また市民相互の親睦と交流を深める場として成果を挙げた。	継続して実施し、市民の誰もがいつまでもスポーツを楽しむことができる環境づくりを推進する。
95	5産業をおこし 豊かなくらしのあるまち	スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	二王門登山レース参加登録者数		↑	834人	850人	中止	303人	35.6%	④50%未満	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、参加人数の制限を行うなど大会の運営方法を大幅に変更し、3年ぶりに開催した。	継続して実施し、市民の誰もがいつまでもスポーツを楽しむことができる環境づくりを推進する。
96	5産業をおこし 豊かなくらしのあるまち	スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	スポーツ少年団加入率		↑	19.9%	20.0%	21.1%	16.5%	82.5%	②80%以上	コロナ禍ではあったが、体力テスト会、指導者研修会を実施するとともに、スポーツ少年団に関するチラシを配布するなど団員拡充事業も行った。スポーツを通じて地域や仲間とかわり合う場を提供することにより、健全な体と心を育むことができた。	少子化の影響はあるが、積極的支援により、団員数の現状維持を目指す。
97	5産業をおこし 豊かなくらしのあるまち	スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	スポーツ施設利用者数	年間	↑	158,911人	206,000人	127,201人	196,205人	95.2%	②80%以上	施設管理者と連携を密にし、施設の健全な維持管理と利用促進、利用者サービスの向上に取り組んだ。	施設の適正管理に努め、より利用しやすい施設となるようにするとともに、管理者と連携し各種大会の誘致を図る。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R3実績	①R4実績	R4達成率	R4達成区分	②R4実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
98	6計画を定め輝かしいあしたをひらくまち	土地利用と市街地の形成	都市計画課	地籍調査完了面積	累計	↑	11.41km ²	11.98km ²	11.41km ²	11.71km ²	97.7%	②80%以上	青野Ⅰ地区(0.3km ²)について登記完了 青野Ⅱ地区(0.2km ²)について一筆地測量を実施	青野Ⅱ地区について、地籍図、地籍簿の作成と閲覧を実施 令和6年度以降、井倉Ⅰ地区に着手
99	6計画を定め輝かしいあしたをひらくまち	土地利用と市街地の形成	定住・地域政策課	あやべ桜が丘団地販売区画数 (R6)	累計	↑	432区画	456区画	439区画	442区画	96.9%	②80%以上	3区画の契約が成立した。 2か月に一回フリーペーパーへの広告記事を掲載、新聞折込チラシ、FMいかるでスポットCMを流すなどのPRを行った。 販売促進にむけて、あやべ桜が丘ハウスパーク運営協議会を実施した。	引き続き、広告の掲載やFMいかるのCMを活用するとともにあやべ桜が丘ハウスパーク運営協議会と協力しながら、販売促進に努める。
100	6計画を定め輝かしいあしたをひらくまち	土地利用と市街地の形成	建築課	借上型市営住宅の整備戸数	累計	↑	34戸	90戸	48戸	56戸	62.2%	③50%以上	令和4年度は1棟8戸が整備でき、総数は56戸になった。	引き続き住宅を建設いただく事業者を募集し、年間10戸を目標として事業を推進する。
101	6計画を定め輝かしいあしたをひらくまち	道路・公園の整備	建設課	橋りょう長寿命化修繕計画に基づく橋りょう補修数	累計	↑	7橋	27橋	17橋	19橋	70.4%	③50%以上	大手小橋、大唐内橋の橋梁補修工事を実施	道路橋定期点検の結果により判定区分の高い橋梁について計画的に補修工を行う。
102	6計画を定め輝かしいあしたをひらくまち	道路・公園の整備	都市計画課	公園施設長寿命化計画に基づく都市公園遊具更新率	累計	↑	35.6%	59.3%	59.3%	61.0%	102.9%	①100%以上	計画に基づき遊具の更新を実施 (高谷公園 すべり台1基)	計画に基づき長寿命化対策を継続して実施
103	6計画を定め輝かしいあしたをひらくまち	公共交通の充実	市民協働課	あやバス乗車人数	年間	↑	197,412人	205,000人	154,879人	165,983人	81.0%	②80%以上	コロナ禍からは徐々に回復傾向にはあるが、人口減少に伴う利用者数の減少もあり、新型コロナウイルス感染症拡大前の状況まで回復することは困難な状況が続いている。 京都大学大学院の学術指導を受け、利用促進や令和6年度に向けたダイヤ改正に向けての助言を受けた。	利用者等の声を聞きながら安定的な運行の確保と利便性の向上を図り、乗車増を目指す。
104	6計画を定め輝かしいあしたをひらくまち	公共交通の充実	市民協働課	鉄道利用通学費補助金利用者数	年間	↑	59人	70人	45人	30人	42.9%	④50%未満	対象となる学生の人口減等の影響を受け、利用者数が減少した。	制度の周知を図るため、高等学校への説明やチラシの配布を行うなど、利用促進に努める。 利用者アンケート等でニーズ調査を行い、より利用しやすい内容を検討する。
105	6計画を定め輝かしいあしたをひらくまち	公共交通の充実	都市計画課	パーク&レール利用件数	年間	↑	13,475件	14,000件	3,002件	事業廃止	対象外	対象外	JR西日本のパーク&レール事業撤退により、令和4年3月31日をもって事業廃止。 令和4年7月よりICOCAやクレジットカードが利用可能な電子決済サービス開始。	民間企業の事業撤退を受け、新たな事業手法について検討を行う。
106	6計画を定め輝かしいあしたをひらくまち	上下水道の運営と整備	上水道課	水道普及率		↑	98.5%	98.8%	98.6%	98.6%	99.8%	②80%以上	懸案事項である点在する奥上林の一部地区の未普及地については、地元の整備要望等の状況から、未普及地解消に向けた事業の着手には至らず、水道普及率の改善には至らなかった。	引き続き水道未普及地解消に向け、対策について検討していく。
107	6計画を定め輝かしいあしたをひらくまち	上下水道の運営と整備	上水道課	上水道管布設替え延長	年間	↑	988m	2,000m	1,888m	1,995m	99.8%	②80%以上	配水施設改良工事及び公共下水道関連工事により配水管布設替えを行った。令和4年度、総布設延長の実績は2,135mで、布設替え延長については1,995mとなり、おおむね目標を達成することができた。	年間2,000mの布設替え工事を計画し、5箇年で全体事業量10,000mの布設替えを目標に事業を実施する。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R3実績	①R4実績	R4達成率	R4達成区分	②R4実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
108	6 計画を定め輝かしいあしたをひらくまち	上下水道の運営と整備	下水道課	汚水処理人口普及率		↑	83.9%	85.2%	85.6%	86.0%	100.9%	①100%以上	公共下水道整備は年次計画に基づき、計画的に事業実施できた。また、浄化槽整備では広報等により募集を行い汚水処理人口普及率の向上に努めた。	引き続き、公共下水道整備、浄化槽整備を計画的に事業実施していく。
109	6 計画を定め輝かしいあしたをひらくまち	上下水道の運営と整備	下水道課	水洗化率		↑	74.8%	76.4%	77.1%	77.4%	101.3%	①100%以上	公共下水道整備は年次計画に基づき、計画的に事業実施できた。また、未接続者へのアンケート実施や、浄化槽整備では広報等により募集を行い水洗化率の向上に努めた。	引き続き、公共下水道整備、浄化槽整備を計画的に事業実施していく。